

## 選考評価のチェックポイント

### ● 「認知症サポーターの活動事例」

- ①多職種のメンバーで構成され、各サポーターの属性、特色を生かしているか。[多職種構成]
- ②自治体等地域の関係機関との連携が図れているか。[連携]
- ③地域の実情に応じた工夫がなされているか。[工夫]
- ④地域における認知症の人・その家族が活用しやすい機能を備えているか。[活用のしやすさ]
- ⑤活動地域で受け入れられ、評価されるべき活動実績があるか。[活動実績]
- ⑥業務の特徴に応じた工夫がなされているか（企業・職域団体の場合）。[業務の特性]

### ● 「チームオレンジ取り組み事例」

- ①多職種の認知症サポーター、認知症の人やその家族等のメンバーにより構成され、各メンバーの属性、特色を生かしているか。[メンバー構成]
- ②活動拠点を設ける等、地域の認知症の人が随時参加しやすい配慮がなされているか。[居場所の確保]
- ③チームメンバーがやりがいをもって継続した活動ができるように考慮したステップアップ講座を実施しているか。[講座]
- ④自治体等地域の関係機関や生活関連企業等との連携が図れているか。[連携]
- ⑤地域の実情に応じ、認知症の人やその家族が必要としている活動を行う工夫がなされているか。[工夫]

### ● 「認知症サポーターステップアップ講座展開工夫事例」

- ①チームオレンジでの活動目標を定めて、活動内容に結びつくように講座が組み立てられているか。[企画]
- ②チームメンバー（またはその候補者）の属性や活動内容に応じた配慮、活動継続のモチベーションにつながる工夫等がなされているか。[工夫]
- ③講座内容がチームオレンジで実践される活動に活かされているか。[実践]